

# 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 研究報告書

## COPDに関連した医療費調査と労働損失の解析

研究協力者 大森 久光 熊本大学大学院生命科学研究部生体情報解析学分野 教授

### 研究要旨

第二次健康日本 21 の重点疾患に慢性閉塞性肺疾患（COPD）が加えられた。本研究の目的は、「COPD に関する啓発と早期発見のための方策に関する研究」のうち、COPDに関連した医療機関利用状況 / 医療費調査と労働損失による疾病負担の解析を行うことにある。COPDの効果的な予防・健康管理の推進のためには、健康管理のキーとなる医療保険者（協会けんぽ、健保組合、国民健康保険等）と企業及び地域住民との協働（コラボヘルス）による新たな仕組みづくりが重要であり、その構築を目指す。本年度は、年度途中からの研究協力者として、平成26年度以降の研究のためのネットワークの構築に取り組んだ。

### A. 研究目的

#### 学術的背景

我が国では、成長戦略における第3本目の矢として「新たな成長戦略（日本再興戦略プラン）」がある。この「日本再興戦略プラン」には3つのアクションがあり、その1つに「戦略市場創造プラン」がある。「戦略市場創造プラン」には4つのテーマが選定されている。その1つに「国民の『健康寿命』の延伸」があり、世界や我が国が直面している社会課題を世界に先駆けて解決することで、新たな成長分野を切り開くことが求められている。

21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）の第一次の重点疾患（がん、循環器疾患、糖尿病）に、第二次（平成25年～34年）では、慢性閉塞性肺疾患（COPD）が新たに加えられた。COPDは2020年には世界における死亡順位が第3位になると予測されており、極めて重要な疾患である。対策として、COPDの認知度の向上を目標としている。

本研究の目的は、「COPDに関する啓発と早期発見のための方策に関する研究」のうち、「COPDに関連した医療機関利用状況 / 医療費調査と労働損失による疾病負担の解析」を行うことにある。

日本における国民皆保険制度下において、医療保険者（協会けんぽ、健保組合、国民健康保険等）と企業及び地域住民の健康管理がキーとなる。しかし、生活習慣病の増加、医療費増大、少子高齢化などの重点課題の解決に対して、これまで、企業及び市町村などの母体組織と医療保険者（協会けんぽ、健保組合、国民健康保険等）とは、必ずしも連携のとれた予防施策がとられていないのが現状である。

そこで本研究では、両者の協働（コラボヘルス）による従業員及び市民（職域及び地域）において、COPDの効果的な予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりを目指す。

### B. 研究方法

#### COPDに関連した医療機関利用状況と医療費調査

このテーマの分析には、熊本県H町の協力を得て行う。

国保ヘルスアップ事業の実施計画に定められた目標を達成することを目的として、1）被保険者の健康課題と支援対策の明確化、2）生活習慣病等の発症予防や重症化に関する

取り組み、3)生活習慣病等の予防の視点による健康意識の向上の取り組み、などが実施された。

その中で、COPDに関する医療費分析のためのデータ(抽出済み及び新規抽出)の使用許可を得て解析を行う。現在許可申請に向けて準備中である。

また、職域に関しては、全国健康保険協会熊本支部(加入者586,383人)の協力の了解を得ており、平成26年度からの本調査の実施に向けて協議を行っている。

### COPDと労働損失による疾病負担の解析

COPDの医療費の分析に加えた、労働損失の評価として、absenteeism(病欠日数)、Presenteeism(生産性の低下)、及び健康診断データを含む包括的な評価を行うことにより、評価システムの構築を目指す。

本研究では、Robroek SJWらがオランダで行った、労働損失の評価としてabsenteeism(病欠日数)、presenteeism(生産性の低下)に関する大規模な調査で用いた質問票を我々が翻訳したものをを用いる。(QQ methods: Quality and Quantity Methods)

(Robroek SJW, et al. The role of obesity and lifestyle behaviours in a productive workforce. *Occup Environ Med* 68: 134-139, 2011)

この質問票は、BrouwerWBFらにより開発され、妥当性が検証されている。

(Brouwer WBF, et al. Productivity losses without absence: measurement validation and empirical evidence. *Health Policy* 48: 13-27, 1999)

その他の労働損失の評価として、Work Productivity and Activity Impairment (WPAI) questionnaireの使用を検討する。

COPD及び閉塞性換気障害の評価には、呼吸機能検査が必須である。人間ドックには、呼吸機能検査が含まれており、人間ドックの受診時に合わせてabsenteeism(病欠日数)、presenteeism(生産性の低下)を含む質問票に記入してもらう。生活習慣を含む問診、血液検査等のデータを対象者及び人間ドック

施設より提供してもらう。同時に、健康保健組合より、対象者の過去1年間の医療費のデータを提供してもらう。個々及び職域全体で、presenteeism(生産性の低下)の要因について、生活習慣(喫煙習慣、飲酒、食生活、運動習慣、睡眠、労働時間、ストレス状態など)また職場及び家庭環境(完全禁煙化、分煙化など)との関連を分析する。さらに、presenteeism(生産性の低下)と健康診断(人間ドック)の結果との関連を分析する。

上記のように「健康と生産性のマネジメント」の概念を取り入れた「コラボヘルス」の構築を目指す。

現在、研究協力候補の企業として、T株式会社の事業所及びその健康保健組合と本調査に向けた協議を進めている。

### (倫理面への配慮)

本研究は、平成14年6月より施行されている文部科学省、厚生労働省による「疫学研究に関する倫理指針」に従って研究を行い、熊本大学倫理委員会の承認を受けるものとする。

「COPDに関連した医療機関利用状況/医療費調査」に関しては、協力市町村より、匿名化されたデータとして提供されるため、個人を特定することはない。

「COPDと労働損失による疾病負担の研究」に関する資料は研究に協力することの同意が得られている人からのみ提供を受けるものとする。

個人の人権保護については、研究協力者(データ提供者)に対して、研究の目的・方法・個人の守秘義務を十分に理解していただき、自由意志により参加した方のみを研究協力者の対象とする。口頭・文書にて研究内容を説明した後、文書にて同意を得る。同意の如何にかかわらず、不利益を受けないものとし、かつ同意後いつでも翻意の可能性があることを説明する。

調査用紙にはプライバシーの保護を明記し、結果に関する報告及び論文発表時には個人が特定できないように配慮する。個人情報に関する管理は、研究代表者が行い、匿名性

と秘密性を保持する。

研究成果の公表は、特定の個人や医療機関、市町村が特定されない形で行う。

### C. 研究結果

本年度は、年度途中からの研究協力者として、平成 26 年度以降の研究のためのネットワークの構築に取り組んだ。

#### COPD に関連した医療機関利用状況 / 医療費調査

平成 26 年度の研究分担者として研究実施にむけた体制づくりを、熊本県 H 町、全国健康保険協会熊本支部、及び T 株式会社の事業所及びその健康保健組合と進めている。

#### COPD と労働損失による疾病負担の解析

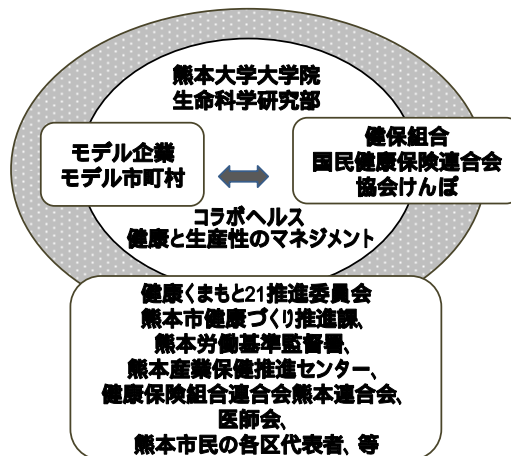
平成 26 年度の研究分担者として研究実施にむけた体制づくりを、T 株式会社事業所及びその健康保健組合と進めている。

### D. 考察

「COPD に関連した医療機関利用状況 / 医療費調査」、「COPD と労働損失による疾病負担の解析」及び健康診断のデータを加えた、いわゆる「健康と生産性のマネジメント」の概念を取り入れた「コラボヘルス」の構築により、職域及び地域において、COPD の効果的な予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくりにつながるものと考えられる。

分担研究者である大森は、第 2 次健康日本 21 運動の熊本市版である「第 2 次健康くまもと 21 (平成 25 年～34 年)」の策定に平成 24 年より会長として尽力している。本研究推進にあたっての研究体制を図 1 に示す。

図 1. 研究体制



### E. 結論

本年度は、企業及び地域住民と保険者との「コラボヘルス」構築の推進体制の整備を行っている。

### F. 健康危機情報

なし

### G. 研究発表

#### 1. 論文発表

- 1). Yamaguchi M, Nakao M, Obata H, Ikeda H, Kanda T, Wang Q, Hara Y, Omori H, Ishihara Y: Application of the COOP/WONCA charts to aged patients with chronic obstructive pulmonary disease: a comparison between Japanese and Chinese populations. *BMC Public Health* 13:754-764, 2013

#### 2. 学会発表

なし

### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得  
該当なし

2. 実用新案登録  
該当なし
3. その他  
なし